

進路だより

『夢をかなえるために……』

札幌市立東白石中学校
第3学年 進路係
第59号
2020年10月13日発行

総合Aから1か月

結果をふまえた学習を！

先月の総合Aが終わってから、1か月が過ぎました。みなさんは、その結果をどのようにとらえているのでしょうか。間違えてしまった問題の分析は、もう終わりましたか？

総合Bを明後日に控え、しつこいと感じる人がいるかもしれませんが、もう一度学力テストについて確認しておきましょう。

『進路だより』のNo.32でも確認した通り、2学期に実施する学力テストの目的は、入試に向けての“実力をはかる”ということです。自分は、どの教科のどの分野に弱いのか。希望する高校に合格するためには、あとどのくらいの実力を身につけなければならないのか。それを確かめるためのテストが学力テストなのです。従って、やりっ放しでは意味がないことになり、**「今回は思うような点数が取れなかったけれど、次のテストで頑張ればいいや」**などと、安易に考えてもらっても困ります。間違えたなら間違えたりの理由があるはずですし、それを解決しないことには、次回も同じことを繰り返してしまう可能性が高くなってしまいます。

そろそろ各学級で、総合Aの結果をもとにした進路相談が始まっていくことと思います。1日当たりの人数や一人当たりの時間は、担任の先生によって違うでしょうし、誰との相談なのかによっても変わるでしょう。そしてその中で、目標としなければならない数字が示されていくこととなります。今までの進路相談とは違った、シビアな（厳しい）内容になってしまう人がいるかもしれません。でも、その数字をクリアできなければ合格できない、または、合格できても高校の勉強についていけない、という現実間違いなくあるのです。

現状を受けとめ、精一杯の努力をすること。それが今のみなさんには必要なことです。この先実施される総合Bや総合Cに向けて、どれだけのことができるのかということも、一人一人が考えてみてください。みなさんがもっている夢や希望を、現実のものとして自分の手元に引き寄せるために……。

大谷喜一記念財団「むすんでひらいて基金」奨学生募集のお知らせ

1 応募資格

- *北海道内の指定中学校に在学する3年生で、高校進学を希望する生徒。
※今年度の指定中学校は、白石区内の市立中学校8校。
- *在籍する学校の長から推薦を受けた生徒。ただし、各中学校からの推薦は、最大2人とする。
※採用人数は最大16人だが、推薦を受けた生徒が必ず採用されるとは限らない。

2 奨学生に対する支給内容（返済義務なし）

- *月額1万円を、入学時から正規の最短修業年限の終期まで支給する。

3 応募のための目安

- *中学2年生時の平均評定をベースとし、原則3.5以上であること。
- *前年の家族全員の合計収入が、600万円以上ある場合は、応募をご遠慮ください。

4 奨学生の選考結果

- *奨学生となる生徒へ、在籍の学校を通じて選考結果を通知します（2021年2月を予定）。なお、選考過程についてはお答えできません。

5 その他

- *他の奨学金の支給を受けている場合には、奨学金の支給を停止又は終了することがある。

6 申し込みについて

- 応募を希望する場合、**10月30日（金）**までに、生徒本人が係（目時）へ連絡してください。締め切り後に、応募のための書類をわたします。ただし、各中学校から2名までしか応募できないので、3名以上の希望者があった場合は、成績上位の生徒（2年生時の平均評定を基本とし、同点の場合は3年前期の平均評定を加味する）を優先します。

☆立命館慶祥高校から、奨学金応募の案内が来ました。必要な用紙を全員に配付しますので、申し込み希望者はその内容をよく読んだうえで、必要事項を記入した用紙を係（目時）へ提出してください（用紙は、表が申請書、裏が申請希望理由の記入欄になっています）。高校側の必着締め切りが11月16日（月）なので、校内提出締め切りを**11月11日（水）**とします。